



碧南市は世界初の 宇宙飛行機の開発基地

碧南市では、2年前からジェットエンジンとロケットエンジンを1つの装置のなかで切り替えることにより、宇宙空間に行つて帰ってくる世界初の宇宙飛行機の開発が行われています。

PDエアロスペース(株)(以下、PD社)というベンチャー企業が、世界中から技術者や協力者を集めて取り組んでいます。現在は、資本金が約7億円です。主な出資者は、ANAホールディングス、エイチ・アイ・エス、みずほキャピタル、中部日本放送、東北大学ベンチャーパートナーズなどで、従業員は15人です。

設立は、2007年5月で、碧南に開発拠点を移したのが、2016年12月です。

市は、PD社と2017年9月に包括連携協定を締結、2018年4月より、ふるさと納税・起業家支援プロジェクトを実施し、全国から約500万円の寄付が集まりました。

開発拠点の選定、国の機関への橋渡しなど、積極的に支援を行っています。また、宇宙飛行機という子どもたちにとっても大変夢のある事業であるので、市の「広報へきなん」、「市勢要覧」などにも頻繁に取り上げさせていただいています。

この間、PD社は2017年7月にジェットロケット燃焼モード切替実験に成功、2018年5月に東京大学との共同研究契約を締結、同10月に東北大学航空宇宙工学専攻澤田研究室と共同研究契約を締結、同12月にJAXAと宇宙イノベーションパートナーシップ協定を締結といったように着実に技術基盤の強化を行っています。また、経済産業省は2018年12月にPD社を地域未来けん引企業に選定しました。

PD社は、2019年中に日本初となる「無人宇宙飛行機による宇宙空間(高度100km)への到達および帰還」を目指し、実験機の製作などにまい進しています。また、2023年までには、有人の宇宙飛行機を完成させ、宇宙旅行を実現させる計画です。当初はパイロット2人を含めた8人乗りで、乗客1人当たりの費用は千400万円、将来的には100人乗りの飛行機を開発して、1人当たり40万円で宇宙旅行ができるようにしたいとのこと。

この宇宙飛行機の開発が将来の市の産業基盤の1つになるかもしれません。市を挙げて応援しましょう。

平成31年度 衣浦衛生組合一般会計予算

衣浦衛生組合は、碧南市と高浜市で構成されている一部事務組合です。主な事業と予算の概要をお知らせします。

問合せ 衣浦衛生組合事務局 ☎(41)3479

